

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月19日

事業所名：北見市子ども総合支援センター「きらり」

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋の移動や、仕切って利用するなどの対応を行っている	職員間で利用する部屋の情報共有を図り、効率的な利用に努める
	2	職員の配置数は適切である		○		育休により職員に欠員が生じないよう公募・配置を行っているほか、積極的に職員研修を行い、業務の知識・技術量の統一化を図っている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		児童の特性に合わせ、指導室の環境を整える等の工夫を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		指導後に片付けや掃除を行い、清潔に心掛けている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○		意見交換の場が少ないため、少しでもそのような場を設けていけるように努めていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			職員全体で保護者等の意向等を把握し、業務改善を図っていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	ケース会議や各支援等では評価を仰いでいる	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		当センターにおいても研修会を実施している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者とニーズや課題を共有しながら作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			これまでも使用してきたツールはあるが、来年度から通所開始時に標準化されたアセスメントツールを使用する
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		発達支援・家族支援・地域支援の項目を使い、個々に必要な支援内容を設定している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		小集団教室では、その都度子どもに合った療育内容を考えている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの状態に合わせ、適切な療育内容を考えている	子どもの状況に応じて同じ活動を繰り返し行っている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		小集団活動が必要な児童と、個別活動に重点を置く児童等に合わせながら作成している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		打ち合わせを行っているが、子どもの様子から臨機応変に変更し、より良い支援を目指している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			打ち合わせ時間が短時間であるため、より職員間の情報共有に向け打合せ時間の確保に努める
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		次の支援に繋げるため、必ず記録をとっている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		計画立案、見直し点や保護者のニーズに合わせてモニタリング後にも職員間でフィードバックしている	
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて関係機関と情報交換を行い、情報を共有している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			児童の医療受診前に、医療機関等にきりりでの情報提供を行っているが、医療機関からの情報提供が少なく、連絡体制の相互理解が必要
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援の際は、保護者の了承を得て行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		職員が教育支援委員会委員で、教育相談に参加しているほか、就学前の学校見学に引率や引継ぎ等を行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		美幌療育病院や旭川こども総合療育センター等と連携し、助言や研修を受けている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		例年実施していたが、コロナ禍のため実施できなかった。再度機会を設けていきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		参加の機会がなかったが、あれば積極的に参加していきたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	○		毎回保護者と面談の時 時間を設け、活動の狙い や児童の状態について 話し合っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム（ペアレン ト・トレーニング等）の支援を行っている		○		必要性を感じており、今後の課題と認 識している
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援 の提供すべき支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支援 計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から児童発達支援計画の同意を得てい る	○		児童発達支援計画書の 説明を行い、保護者か ら同意を得て署名捺印 をもらっている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対 する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	○		毎回療育後に面談時間 を設け、助言や支援を 行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	○			ことばの相談室では父母の会活動に取り 組んでいるが、併行教室等は就労し ている保護者が多いこともあり、開催 できておらず、今後の課題である
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについ て、対応の体制を整備するとともに、子ども や保護者に周知し、相談や申入れがあった場 合に迅速かつ適切に対応している	○		相談受付について周知 しており、保護者の希 望に沿った発達相談等 を行っている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に関わるもの は、職場から持ち出さ ないよう徹底している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚提示や保護者には 紙に書くなどといった 配慮を行っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている		○		通所児のプライバシー保護の観点から 難しい状況である
	非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護 者に周知するとともに、発生を想定した訓練 を実施している	○		
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	○			
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認している	○		事前に保護者に確認し ている	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされている		○	食事の提供はなく一部 おやつ等の提供があ り、保護者に確認し対 応している	衛生管理の徹底を図り、慎重に対応し ていく
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している		○		発生した場合は報告に留まっているた め、職員間での情報伝達と共有を図っ ていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		研修機会については今年度コロナ禍もあり参加できなかったが、関係機関と連携を密にしマニュアルに則り適切な対応に向け取り組む
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	ケースはないが、周知している	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。